

あすなる

北部地区農村環境改善センター

発行 青森市北部地区
農村環境改善センター
〒038-0054 青森市奥内字宮田 41-3
TEL 017-754-2244
FAX 017-739-6248



講座レポート

こぎん刺しでワンポイント！素敵なマスク作り



10月8日(金)、「こぎん刺しでワンポイント！素敵なマスク作り(全2回)」講座が開催されました。講師は、Chou Chou fil を主宰している田村真理子さんです。田村さんはこぎん刺しアドバイザーとしてこぎん刺し教室を開催したり、小学校で手芸講師として活動したりする等多方面で活躍されている地元在住の方です。2回の講座ですが、1回目の講座を取材しました。

最初に講師から「今回作成するマスクはオーバーマスクとして使用してほしい」という話の後にマスクの材料を確認しました。次にこぎんの布は端がパサパサするので、ボンドでコーティングをしました。図案選択の段階になって、参加者のほとんどが初心者だったので、全員で縁起が良い「だんぶりこ」の図案を刺すことにしました。田村さんが「針に糸を通すときは糸の先を擦って輪にすると通しやすい」「常に布の下から上に刺す」「糸を引っ張る時は根元を押さえて引っ張ること」等刺す手順を手取り足取り指導していました。

参加者が「先生お願いします」「困ってしまった」「失敗した」という声が出るたびに、「大丈夫よ」「今行きますから」等優しい言葉をかけながら講座を進めていく姿に、こぎん刺しアドバイザーとしての長年の経験に裏打ちされた指導力を垣間見ることができました。刺し始めてから1時間30分ほどで全員が「だんぶりこ」を刺し終わりました。



最後に田村さんから「次回にマスクを縫い合わせて完成です。休憩をせずにこぎん刺しに熱中する参加者家で他の図案を刺してきてください」という話があり、1回目は終了しました。

講座レポート

聴く旅「台湾の魅力」(11/1)



「飲み放題より食べ放題が大事」「台湾人はあまりお酒を飲まない」「マイボトル、マイストロー、飲み物バッグを携帯している」「お皿の上にラップを敷いてお皿が汚れないようにしている」等という話が印象的でした。

聴く旅「台湾の魅力」講座が、開催されました。講師は青森市国際交流員 呉 詠心(ウ ヨンシン)さん。呉 詠心さんは、台湾新北市出身で今年の4月から青森市国際交流員として勤務されています。上智大学に留学されていたので日本語が堪能で台湾の魅力をたくさん教えてくださいました。

特に「台湾人あるある」に強く興味を惹かれました。①バイクの滝(コスパが良いので通勤に使用)②歩行者用信号機が「青信号機」の時、緑色の人型が歩く姿と残り時間が表示される。③台湾のゴミ収集車のお知らせ音楽「乙女の祈り」が流れたら、自宅のゴミを持って、ゴミ収集車にゴミを投げる。④外食文化(三食外食をする人が多く安い)⑤列に並ぶのが好き⑥若者も政治に関心を持っている。

最後の質問コーナーでは、「三食外食をするそうですが、食費はどれくらいかかりますか」「新型コロナウイルスの感染防止対策はどうなっていますか」「台湾の自然環境はどうなっていますか」等多くの質問が寄せられ、台湾への興味が強く湧き起こった講座となりました。



参加者の質問に答える 呉 詠心講師

講師の青森市生涯学習推進員田中洋一さんによると「2018年、瀬戸子館の山城遺構を発見した。令和元年（2019）10月に安藤氏研究の第一人者である弘前大学名誉教授齊藤利男先生の現地調査により安藤氏関連の山城であることが確認された。瀬戸子館跡は、青森市瀬戸子と奥内の丘陵にあり、飛鳥山館と前田蝦夷館との間に位置する」ということである。

前日まで雨模様が続き、当日は今季最低気温が予想されフィールドワーク開催が危惧されたが、関係者の熱意が天に届いたのか、空には時折



北虎口の様子

太陽が顔を覗かせる中フィールドワークが始まった。

瀬戸子八幡宮に到着した一行は田中洋一さんから「瀬戸子館跡」探訪コースの説明を受けた後に出発した。最初の休憩地である一の陣地までは結構な上りのために、息を切らす参加者も見られたが、安藤氏の活躍を思い起こさせる数々の山城遺構を目にするたびに、疲れが吹き飛んでいく感覚を覚えた。東曲輪から一の陣地までは尾根づたいに歩くのでさほど苦にならなかったが、Y字壕道見学時は斜面を下って行ったので、難儀する参加者も見られた。脇壕道を通り北虎口に到着するのに2時間ほど費やした。北虎口から北谷口までは下りであったが、足取りは軽やかであった。北谷口では講師の田中さんが「瀬戸子館の歴史背景」を分かり易く説明してくれた。瀬戸子八幡宮に戻り解散になったが、参加者の顔には探訪できなかった瀬戸子館跡の北側遺構への期待が満ち溢れていた。



＜本日のコース＞・瀬戸子八幡宮発→①陣所跡→②南谷口→③大手虎口→④一の陣地→⑤東曲輪→⑥西曲輪→⑦二の陣地→⑧Y字壕道→⑨脇壕道→⑩北虎口→⑪北谷口→八幡宮着

業務員のコーナー これまでに、こんな講座が開催されました！

担当 吉田



10月29日、JA奥内地区女性部が教える「漬物」

ヤーコンのらっきょう酢漬け(しそ味)と旬の野菜を使ったアッサリ漬けを紹介しました。その後、簡単にできるヤーコンレシピ(きんぴら・天ぷら・サラダ)を作って試食しました。参加者からはヤーコンの使い方がわかったので購入して作ってみます。初めての食材ヤーコンはシャキシャキしてとっても美味しかった。などの声があり大盛況でした。



10月6日、「キノコを知ってキノコを楽しもう！」

講師は青森県きのこ会事務局の湯口竹幸さんです。まずは朝に採取した毒キノコを紹介。次に、キノコ菌による植物の分解など自然に与える影響をお話されました。キノコを目前に、興味津々の参加者からは大変勉強になりました。難しいけどこれから勉強してキノコを採りたい。来年も参加したい。などといった声が多く寄せられました。

編集後記

昨年に引き続き、今年も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、やむを得ず恒例の市民センターまつりを中止いたしました。今号では、講座レポート等の記事で、市民の皆様の生涯学習活動に熱心に取り組む様子を紹介いたしました。次年度こそはセンターまつりが開催されることを願っています。

北部市民センター担当：須藤、横内

〈取材・編集〉

青森市中央市民センター1F
青森市生涯学習推進員室
TEL 017-734-0164 (内線 36)